

平成 19 年度町村議会表彰候補 審査結果報告

平成 20 年 1 月 16 日

全国町村議会議長会

会 長 原 伸 一 様

町村議会表彰審査会

委員長 佐 藤 竺

本審査会は慎重審査の結果、平成 19 年度町村議会表彰候補として別記 36 町村議会および特別表彰候補として別記 4 町村議회를それぞれ選定しましたので報告いたします。

記

表彰候補町村議会名

1. 町村議会特別表彰候補

北海道栗山町 山形県庄内町 長野県箕輪町 鹿児島県さつま町

2. 町村議会表彰候補

岩手県岩泉町 住田町 矢巾町 紫波町 宮城県利府町 秋田県羽後町
福島県会津坂下町 茨城県大洗町 栃木県大平町 群馬県中之条町
埼玉県上里町 宮代町 東京都神津島村 神奈川県葉山町 大磯町 湯河原町
山梨県富士河口湖町 富山県立山町 石川県川北町 福井県南越前町
岐阜県白川町 三重県明和町 奈良県田原本町 和歌山県日高川町
岡山県和気町 山口県秋芳町 徳島県牟岐町 香川県琴平町
愛媛県上島町 高知県黒潮町 福岡県矢部村 苅田町
熊本県富合町 御船町 宮崎県高鍋町 鹿児島県始良町

審査経過

本審査会は、今回、表彰制度の改正を受けて新たに平成 19 年度の審査方針を決定、これに基づき全国 47 都道府県の町村議長会に候補の推薦を依頼した。その結果 31 都道県町村議会議長会から計 40 の候補の推薦があり、これを本審査会で検討、全部の候補決定を行った後、さらに特別表彰候補 4 町村議회를選定した。

本年度の審査方針は重点を 住民にみえる議会、議会本来の役割を積極的に果たしている議会の二つに絞り、それぞれに目安となる例を列記して、これに基づき審査を行った。

のうち委員会の公開、議会広報の充実、議会の実況中継、議会のホームページ開設などは 40 町村の多くに見られるが、休日・夜間議会の開催はなく、住民懇談会・議会報告会・本会議場への住民参加なども極めて限られている。また、のうち議場の型の工夫、対面式・

一問一答方式の採用などはかなり普及しているが、専門的知見・公聴会・参考人の活用例はほとんどなく、地方自治法第96条第2項の条例による議決事件追加、あるいは政策形成能力や行政監督能力充実のための自由討論・勉強会実施などは事例が乏しい。ちなみにこれらとで議会の活性化が図られている所ではおしなべて議員の条例案・意見書・決議の提出数が多くなっているのがうかがわれる。したがって、とりわけ特別表彰の審査では共通の特色に加えてさらにユニークな取組みをしている所に注目した。

特別表彰候補選定理由

北海道栗山町

栗山町は、全国初の議会基本条例を制定し、委員会全面公開・コの字型議場・対面式・一問一答方式採用など他と共通の工夫のほか、住民との懇談会開催に加えて、今回の表彰候補中、他に類例を見ない議員同士の自由討議や町民の議会活動への参加を保障した「一般会議」の開催、地方自治法第96条第2項の条例による議決事件6件追加、有識者への町発展計画調査依頼など多彩な取組みが見られる。

山形県庄内町

庄内町は、委員会全面公開・議場馬蹄形・一般質問のみ対面式・一問一答方式など他と共通の工夫のほか、町民との懇談会年7回、別に諸団体との常任委員会による懇談会年12回開催、法第96条第2項の条例による議決事件に基本計画追加、庄内町独自の「議会の議決すべき事件以外の透明性を高めるための条例」制定、委員会報告は政策提言を含むといった取組みをしている。

長野県箕輪町

箕輪町は、委員会全面公開・対面式・一問一答方式など他と共通の工夫のほか、懇談会年5回(団体)開催、模擬議会開催、議長を除く全員が毎回質問、月1回定例協議会で意見交換・討論・勉強会開催、議会活動特別委員会で議会改革を検討などユニークな取組みが見られる。

鹿児島県さつま町

さつま町は、他と違って大水害から議会も災害に関し積極的な役割を演ずるようになり、その過程でユニークな取組みが行われるようになった。対面式・一問一答方式などのほか、参考人制度を活用してここ1年間に防災1件2人、行財政改革2件20人から意見を徴したのを初め、懇談会は年4回(豪雨・老人・商工・保育の関係団体)開催、また議会のホームページには議会への質問も掲載している。

これら4議会のユニークな活動は、他町村の議会活性化への取組みにも刺激を与え、示唆するところが大きいと高く評価できる。